

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（代表者）	・Go To Travelに代表されるような政策の実行により人流は一層盛んになり、景気は回復していくと判断している。
	◎	コンビニ（副店長）	・7月からの全国旅行支援を始め本格的な夏を迎え、またクルーズ船も来航する動きがあり今後にかなり期待を寄せる。
	◎	家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が弱まる。観光客の増加が予想される。
	○	百貨店（店舗企画）	・今後、夏場に向け、観光客の増加に期待している。空港の国際線の復活も明るい兆しとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・観光客が徐々に増えてくると各種イベントの再開などで売上が期待できる。
	○	その他専門店 [陶器]（製造）	・夏は観光客が戻ってくると予想している。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・7～8月の宿泊予約の動きがここ数か月前と比べて良くなっている。全国旅行支援の施策が動くことで更に増える予想している。飲食宴会は徐々に予約が増えている。
	○	旅行代理店（マネージャー）	・急にストップが掛からなければ徐々に回復傾向であるとみている。
	○	通信会社（営業担当）	・沖縄県は観光が盛り上がりないと市場全体が落ち着いてしまう。この先新型コロナウイルスの感染状況も収まり国内外からの観光客が戻れば、市場も全体的に活気付き、客足も伸びるのではないかと期待している。
	○	その他サービス [レンタカー]（営業）	・先行きの予約状況は2019年度と同水準まで回復している。県民割などの施策効果で、特に旅行代理店経由の予約回復幅は堅調である。しかし、今年は車両調達が厳しいことで保有台数が限られているため、夏季繁忙期は既に満車日が多い状況である。
	□	スーパー（企画担当）	・消費者の節約志向が今後ますます強くなると予想されることから、現状のような厳しい状況が続くとみられる。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・商品の供給不足が続き、更に生産が落ち込む見込みである。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・住宅用地価の高止まり、資材の高騰など良い材料が見当たらない。
	□	住宅販売会社（役員）	・新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着き、県外からの客も増えるとみられるが、物価高や金利上昇懸念から住宅購入に対し慎重な姿勢になるのではないかとみている。
	▲	商店街（代表者）	・ここ1週間ほど前から会食の人数と時間の制限が部分解除になっているので、新型コロナウイルスの感染状況がもう少し落ち着くようになれば少しは良くなるのではないかとみている。早く新型コロナウイルス感染症の終息が期待される。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・今のように円安、原油高、物価上昇が続くとすると到底良くなるとは考えられない。逆に悪い状況が改善されれば、持ち直すかもしれない。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの6月の販売室数が前年比152%増加なのに対し、6月末時点での9月の予約室数は前年比20%増加と、プラス幅が小さくなっている。
×	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・客の動きは活発になりつつあるが、食材が大幅に値上がりしている。また、求人募集に応募が全くなく、必要な人数のスタッフがいないため、店休日を入れないとシフトが回らなくなっており、機会を損失している。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	＊	＊
	□	食料品製造業（役員）	・しばらくは現状が続くとみている。今後、販売価格への転嫁が進み収益状況が少し改善されていくことを期待している。
	□	建設業（経営者）	・見込み度の高い客の相談件数が減少している。
	□	輸送業（経営企画室）	・継続して値上がりが続くと予想されるため、特に景気は変わらないと予測される。
	□	広告代理店（営業担当）	・外国人観光客受入れ再開などで景気回復を期待する声がある一方で、先行きの景気を見通せず、販促費を抑える傾向もある。
▲	窯業土石業（取締役）	・原材料価格高騰の影響を受け収益悪化しているが、価格転嫁に苦慮している。	

	▲	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門では石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調に進み、民需部門では宮古島のホテル等で回復がみられ、軽石問題は軽減されたが、新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ強い。ウクライナ問題で端を発した、燃料や食料等の物価高などの影響が懸念される。
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
(沖縄)	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・沖縄県内の全体的な求人数が増加する。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・秋口から年末に掛けた社員系中途採用求人数が活発になる時期であり、前年度においても緊急事態宣言下ながら9月の6月比は約130%となっていた。前年度のような上がり幅は期待できないものの、今月よりは増加すると予測している。
	○	職業安定所（職員）	・観光業界は夏に向けて経済活動が復調する。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・これまで海外でやっていた業務が、円安の影響で国内に移行されている可能性が高い。設備投資が余り必要のないBPO企業を中心に業務が増え、求人数や採用数の増加が見込める。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・物価上昇、新型コロナウイルス感染者数の横ばい等で、なかなか景気は良くなるとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルス感染症による不景気が、世界情勢などの一部悪化によってさらに強まる懸念がある。
	▲	—	—
	×	—	—